

## 鹿籠さん（JA6HOI）を偲んで

昨年末、突如どんたくネットを牽引して下さって居た鹿籠さん（JA6HOI）の訃報が伝わり信じられない思いでした。あの特徴有る元気な声、気取りの無い人を惹きつける会話・・・ 21,437MHz でスケジュールタイムになると必ず聞こえる声と信じていました。



何時から体調を崩されていたのでしょうか？ もう一度くらいお話をさせて頂きたかったと悔やまれます。

今まで見て来た3つのサポートネットの流れとその中で果たされた鹿籠さんの功績について少しお話しさせて頂きたいと思います。一番初めに誕生したのがオケラネット、続いてシーガルネットが誕生しました。この時はそれぞれ多田さんの「オケラ」、野村さんの「シーガル号」をサポートするための限られた範囲の構成メンバーでした。

私が初めて参加したのは1981年、シーガルネットでした。この時点ではシーガル号の為だけのネットでしたが一寸ハードルが高く誰でも気軽に声を掛けられる雰囲気ではありませんでした。女性と言う事で（紅一点？）特別にサポートネットから受け入れられたようです。

そのうちに長期航海をするヨットマン達にとってアマチュア無線に依るサポートは大変心強い存在であることが認識され次第にオープンな形になり沢山のヨットが参加するようになりました。

私自身オケラネットのお手伝いをしていた時期もあります。この時、航海の途中で猫を拾い「アフラ」と名付けて7年間気ままに世界を回っていた「オーロラ」の森脇さんと出会いました。天候の状態が余り良くなく心配になり、私の方からシーガルネットもワッチするように薦めてスケジュールの時間と周波数を教えました。その時の彼からの質問です。「えっ、二つのネットに参加しても良いのですか？」この頃ヨットマンの中には二つのネットに参加するのはマナーに反すると言った認識の方達も居たようです。

ヨットをサポートするためのサポートネットです。長い年月の間に次第に二つのネットの垣根は取り払われ多くのヨットが二つのネットにチェックインする様になりました、時間帯が異なるとコンディションも変わり日本と繋がる可能性は広がります。

2018, 9, 1 シーガルネットはオケラネットの周波数 21,437MHz に移行し、同時に夕方にどんたくネットが誕生しました。同じ周波数に三つのネットが集結したわけです。この時点でまだあまり認識されていないどんたくネットを牽引して下さったのが鹿籠さんでした。積極的にどんたくネットを牽引すると同時にオケラネット、シーガルネットにも声を掛けて下さり更に三つのネットの垣根は低くなり一体感のある繋がりになりました。私の中では鹿籠さんは 21,437MHz を支えていく原動力となる方のお一人と認識しておりました。惜しい方が亡くなられたと思います。まだまだ活躍して欲しい方でした。

どんたくネット、オケラネット、シーガルネット一同、鹿籠さんのお力添えに感謝すると共に心よりご冥福をお祈り致します。

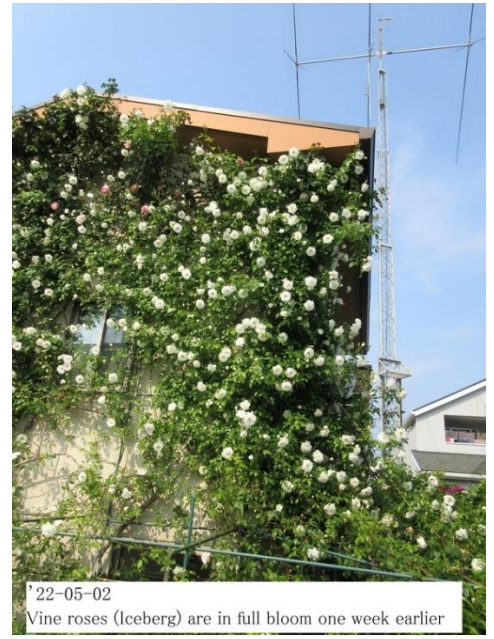
de JH8XIZ 原田 栄子

\*次ページから BBS に投稿された写真を掲載します。



'21-Sep-27 With my 6-year-old grandson

鹿籠さんとお孫さん (QRZCQ.com より)



'22-05-02  
Vine roses (Iceberg) are in full bloom one week earlier

ご自慢の薔薇の壁 (QRZCQ.com より)



薔薇をこよなく愛し栽培に勤しまれた。



ありし日の ANT メンテナンス作業風景



鹿籠さんご一家の写真



ヨット「澤」志摩ヨットハーバでのアイボール写真（左から鹿籠さん、大島さん、太田さん）

写真提供：JA1TKA 編集：JA1IDQ